

令和元年度 学校経営目標と学校評価の推進

本校は「開拓の精神」を建学の精神とし、「整々たる校風」のもと、知・徳・体のバランスのとれた全人教育の視点に立ち、心豊かに逞しく生きる人間教育を志向した「創成の教育」を推進してきた。創立から半世紀が過ぎ、「進化する創成高校」を「SOSEIシステム2.0」として始動させ、全教職員が「学校経営方針」のもと、学び続ける教師集団として「創成の教育」の更なる向上に努める。

※ 評価：5段階（年度末評価）

高い ← 5・4・3・2・1 → 低い

1 学校運営					
校長の経営方針	分掌・センター等の関連項目・主な取組	中間総括（10月期）	年度末総括	評価	担当分掌
<p>①校内の組織力を生かす。学年・分掌・教科等の各組織において緊密な連携のもとに迅速に情報を共有し、機能的且つ効果的な教育活動を推進する。</p> <p>②「教育構想企画室」においては学校経営方針、及び重点事項、学校評価に関する事項、今後の展望について未来志向に立った課題を検討する。</p> <p>③教育環境を整える。ICT（情報通信技術）環境と機器の整備を計画的に行い、実施に当たっては効率化と情報セキュリティの強化を図る。</p> <p>④危機管理対応については本校のマニュアルを基本に、迅速に関係機関と連携し、適切に対応する。</p> <p>⑤国際理解教育の推進。グローバル化に伴い、姉妹校との交換留学、海外研修等、国際交流を推進し、異文化理解と自国文化の再認識を図る。</p>	<p>① 総務部の諸行事や所轄業務の遂行に当たり、各組織と連絡・調整を図り、円滑に企画運営する。</p> <p>②校長の諮問機関として、本校の将来構想を含め、諸課題について検討する。</p> <p>③ICT委員会を中心に、情報機器の環境整備に努め、生徒及び教職員の活用環境の向上に努める。</p> <p>④多様化・深刻化する危機に備え、適切に対応するために、危機管理の意識を全教職員が共有し、対応する。</p> <p>⑤交換留学や語学研修、及び報告会等の諸行事を通して、国際理解教育の推進を図る。</p>	<p>① 前期に関しては、概ね計画通り履行できたと考える。</p> <p>② 後期・次年度に向け、諮問内容が呈示されたので、吟味し検討に当たる。</p> <p>③ タブレット台数の増加と動画等による通信容量増加に伴うWifi環境等の適宜見直しが必要。</p> <p>④ 「危機管理マニュアル」の今年度版を発行し、対応の在り方の意思統一を図る必要がある。</p> <p>⑤ 各種関係行事・業務等を通して方針の推進を図っている。後期は交換留学の派遣・受入が予定されておりそのための綿密な準備・計画が求められる。</p>	<p>① 総務部主管、関係行事については概ね履行できたが、まだ道半ばと言える。全校応援など、学校力が問われる行事についても、教職員の協力を得て、当番校など、他からの評価もいただいた。</p> <p>② はっきりと数字が提示され、各分科会での次年度につながる成果が上がった。新年度の進展に期待ができる。</p> <p>③ 次年度に向け通信回線の強化を図り、Wifi環境の整備を推進予定。</p> <p>④ 新型コロナウイルス感染症発生が年度末あり臨時休校措置、分散登校などに教職員が一丸となって課題提出などに取組、危機管理意識を大きく共有できた。</p> <p>⑤ 1年ぶりにMACからの留学生が来校し、本校生徒と交流を持てたことは良かった。GLコース在籍生徒数が増加傾向であり、また現地校のホームステイ受け入れ数にも限りがあるため、早急な対応が求められる。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>3</p>	<p>総務部</p> <p>企画室</p> <p>情報システムセンター</p> <p>教頭</p> <p>国際教育センター</p>
2 学習指導・教育課程					
<p>①新学習指導要領に基づき、本校の教育方針に則った教育課程を編成する。</p> <p>②各教科は、組織的に基礎学力の定着と発展的な学習の指導法を探究し、学力向上に繋げる。</p> <p>③教師は、生徒個々の実態を把握し、能力・適性に応じた授業実践に努め、授業管理を徹底する。</p> <p>④生徒の自立的な学習意欲を促し、主体的な「学び」へとつながる学習方法を工夫し、学力向上を図る。（アクティブラーニング・マネジメントノートの活用）</p> <p>⑤授業の短縮やカットは最小限に止め、授業時数の確保に努める。</p>	<p>①生徒の能力・適性・進路を把握するとともに、社会の変化等に対応できる教育課程の編成に努める。</p> <p>②生徒が基礎学力を定着させ、自主的に学習する態度を育成するとともに、発展的な学習の指導法を探究させる。</p> <p>③生徒の実態を把握するとともに、生徒のやる気を起こさせる授業態勢づくりに努め、教員の実践的な指導力の向上を目指す。</p> <p>④生徒に興味・関心を抱かせる授業内容を工夫改善し、生徒の主体的・自立的な学力向上を図る。</p> <p>⑤学校行事の精選を図り、授業時数の確保に努める。</p>	<p>① 2020年度教育課程を編成。</p> <p>② 場合に応じた学び直しやICTを活用した授業を通じて、基礎学力定着を図った。</p> <p>③ 基礎力診断テストやスタサポの結果を教務・進路で分析。実態に応じた授業・考査作りに努めた。</p> <p>④ 授業評価等を実施することで、生徒の意識も向上。教員も評価に対して生徒への説明責任を果たしている。</p> <p>⑤ 授業時間確保に努めている。</p>	<p>① 2021年年度コース再編をもとに、新教育課程を編成急ぎたい。</p> <p>② 基礎学力定着のために家庭学習は不可欠。粘り強い指導が今後必要である。</p> <p>③ コースに応じた取り組みで成果を挙げつつある。</p> <p>④ コースに応じた取り組みで成果を挙げつつある。</p> <p>1 新型コロナウイルスの影響で授業時間が大幅にカットとなった。</p>	<p>3</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p>	<p>教務部</p> <p>教務部</p> <p>教務部</p> <p>教務部</p> <p>教務部</p>

3 進路指導					
<p>①生徒の進路目標を早期に設定させ、3カ年を見通した系統的な指導を行い、進路意識を高め、個々の生徒の進路実現を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、ワンランク上を目指す進路指導に努める。</p> <p>③SAGコースの進路マネジメントを有効に活用し、国公立大学・難関私立大学への現役合格を達成するよう進学指導を推進する。</p> <p>④生徒の希望進路に応じて検定などの資格を習得させ、個別指導を丁寧に行う。</p>	<p>①3年間を見通した進路指導を系統的に行い、生徒の多様な目標の実現を支援する。</p> <p>②生徒の可能性を最大限に伸ばし、ワンランク上を目指すため、学年、教科、分掌との連携を密にして、木目の細かな進路指導を推進する。</p> <p>③SAGのコースの特性を踏まえて国公立大学・難関私立大学への合格を目指し模試・講習の企画・運営・分析などを綿密に行い、生徒の進路指導を推進する</p> <p>④希望の進路に応じて、丁寧な個別指導で検定等の資格を取得させる。</p>	<p>① 系統的な進路指導を模索している</p> <p>② 学年・分掌との連携はとれつつあるが、教科との連携が課題である。</p> <p>③ 国公立大学合格者20名以上を目指し指導をしている。</p> <p>④ 各種検定への挑戦を促している。</p>	<p>① 生徒層の変化に応じて新しい体系的な進路指導について検討が進められている。</p> <p>② 授業・講習等の内容などについて教科と緊密に連携するようになってきた。</p> <p>③ 国公立大学22名（現役20・過年度2名）、北大現役1名、筑波大現役1名など。A特進からも11名合格など一定の成果を上げた。</p> <p>④ 英検・GTEC・漢検・数研など教科とも連携しより効果的な受験指導を目指す。</p>	4	進路指導部
				4	進路指導部
				5	
				4	特進選抜センター
4 生活指導					
<p>①生徒の規範意識を高め、規律正しい生活習慣の定着を図る。身だしなみや挨拶・時間の管理・集団生活におけるルールやマナーなど、全教職員で一致した指導に当たる。</p> <p>②自他の生命を尊重し思いやりの心を育み、いじめや体罰のない学校を推進する。</p> <p>③ボランティア活動を積極的に奨励する。</p> <p>④生徒に寄り添う指導、向き合う指導を通して自律的な生活態度を育成し、不祥事故を未然に防止する。言葉の暴力・威嚇的な指導は避ける。</p>	<p>①服装や挨拶、集団生活におけるルールやマナー等を守らせ、規律正しい生活習慣を、教職員一丸となって指導を行う。</p> <p>②「命の尊さ」をしっかり認識させ、相手を思いやる心を育み、体罰やいじめのない、楽しく、充実した学校生活を推進する。</p> <p>③奉仕の精神を育み、積極的にボランティア活動に参加する姿勢を養う。</p> <p>④交通事故や自転車事故等の不祥事故防止を行うと共に、教育者としての言葉遣いや教育姿勢を深める研修を行う。</p>	<p>① 服装や挨拶、集団生活におけるルールやマナーに対する認識が教員間で幅広いため、教職員一丸となって指導を行うのに難がある。</p> <p>② 同上</p> <p>③ 部活動生徒を中心に行事等の準備後片付けを積極的に手伝っている。</p> <p>④ 自転車事故が多発していることから、乗車マナーや交通安全に対する呼び掛けを一層強化。</p>	<p>① 生徒の規範意識は決して低くないことから教員の基本的ビジネススタイルを確立することが先決。「やりますよアピール」や、「やらなくてもクビにならない」では本質的に何も変わらない。</p> <p>② 同上</p> <p>③ 積極的に手伝いたいと意欲を見せる生徒は多く存在するので、活動を一層、活性化したい。</p> <p>④ 自転車事故後の保証についてのトラブルが多かったことから、次年度から高P連保険に強制加入することで、対人のみならず、物品に対する補償をつけて対応する。</p>	3	生徒指導部
				3	生徒指導部
				4	特活センター
				3	生徒指導部

5 特別活動・部活動					
①ホームルーム活動や学校行事、生徒会活動や委員会活動に生徒を積極的に参加させることで、学校生活の充実と活性化を図る。	①生徒会行事を中心に、生徒会や委員会等の活動の活性化を図る。	① 生徒会の活性化をめざし更に努力していきたい。	① 委員会活動では一部十分に活動が見られない部分もあった。次年度はより活性化させていきたい。	3	特活センター
②部活動(含む 同好会)を奨励し、部活動への加入率を高める。	②学習と部活動の両立を目指すとともに、活発な部活動を推進する。	② 部活動入部者名簿を作成して全体の把握に努めた。	② 部活動入部者名簿の作成は次年度も継続して、新入生に対してはさらに加入率の増加を目指していきたい。	4	特活センター
③強化指定部は、特に学校を代表する部としての自負心を持たせ、部員はその自覚のもとに全道、全国大会への進出を目指す。	③強化指定部は、確実に実力を付け、全道・全国で活躍できる選手の育成に努める。	③ 年度途中で吹奏楽部および女子バスケットボールの動きがあり他の強化指定部に更に期待していきたい。	③ 野球部からプロ選手にドラフト指名いただいたことにより注目度が高まっている。さらに他の部活動も活性化させていきたい。	4	特活センター
④「朝の10分間読書」を生涯教育の一環として位置付け、読書活動を推進する。	④読書指導を推進し、図書館の利用拡大と読書力を高めるとともに、学習活動の推進に努める。	④ 「朝読強化週間」を設けたが、その時だけでただらけてきている。教師個人の意識の問題か。	④ 朝読の意義を確認しながら、多くの先生に協力していただいて、朝読を名実ともに創成の伝統としていきたい。	3	図書部

6 保健・安全指導					
①学校保健計画に基づき、保健管理と保健教育を適宜指導する。	①保健教育と保健管理の諸活動を通して生徒の健康の保持増進を図り、自己管理能力を育成する。	① 保健だよりを通じて生徒に健康保持に関する情報を提供した。	① 保健便りの内容が生徒には伝わっていると感じている。	4	保健環境部
②日常の防火・防災意識を高め、安全管理を徹底する。	②日常の防火・防災意識を高め、安全管理と安全避難の徹底を図る。	② 自己防衛の観点から、火災と地震に関する避難訓練を実施した。	② 訓練であるという気分が抜けない生徒への対策が必要である。	3	保健環境部
③校舎内外の環境整備と美化に努め、施設設備・機器の保全に万全を期す。	③快適な学校環境をつくり、公共物愛護の精神の育成を図る。	③ 防火点検で校舎の安全確認をしながら生徒の公共物愛護の育成を実施した。	③ 一部の公共物愛護の感覚に乏しい生徒への対策が必要である。	3	保健環境部
⑤ 生徒の心のケア等の健康管理について、教育相談センターは担任、保健室、学年と連携し、適宜、外部の専門機関との連絡を取りながら指導にあたる。	④生徒の心のケアには校内外の関係機関と連携して支援の充実を図る。また、アセスのデータ分析と改善方法の提案、心理教育の試行の取組をする。	④ 生徒の心の成長のために、SGEや放課後等デイサービスを利用できた。アセスの要支援生徒については担任が面談して報告書を提出してもらった。	④ 生徒の多様化が進み、心が弱く傷つきやすい生徒が多くなった。それに対応するため、アセスの有効利用はもちろん、心理教育についても実用化の段階に入ったと思われる。	4	教育相談センター

7 研究・研修					
①教師は日々自己研鑽に努め、公開授業や研究授業、生徒による授業評価・アンケート等を活用して改善に努め、教師としての資質や力量を向上させる。	①教師は、公開授業や研究授業を積極的に行い、アンケート調査等を謙虚に受け止めて生徒がわかる授業を心がけ、常に授業の工夫改善に努める。	① 7月に第1回授業アンケートを実施。その結果を受け、改善に努めている。	① 12月に第2回授業アンケートを実施。1回目に較べて改善がみられた。生徒の視点に立った授業展開が今後も望まれる。	3	教務部
②校内研修体制を充実させる。また、外部の研修会への参加や先進校視察を奨励し、研修内容を報告する。	②校内研修の内容を充実させ、教科・分掌・学年の自主的・自発的な研修を推進するとともに、教員の実践的な指導力の向上を目指し、主体的・意欲的な研修の推進に努める。	② 先進校視察を実施。今後の教育に生かしたい。	② 新学習指導要領に伴う研修は、今後も継続的が必要である。	3	教務部

8 広報活動・募集活動					
-------------	--	--	--	--	--

<p>①日常の教育活動が生徒募集活動に直結しているとの認識をもち、生徒・保護者の満足度を高める教育活動を展開する。</p> <p>②効果的な広報活動・募集活動を展開し、応募倍率の維持・増加を目指す。</p> <p>③学校HPを活用して生徒の活躍（学習・諸行事・部活動等）の様子をタイムリーに発信する。また、広報誌「ぷらたなす」、父母だより「ちょっといい話」、体文だより、学校案内「TRY」等の発行を通じて本校の教育を外部へ発信する。</p>	<p>①SAGコースの増員を目指し、あらゆる機会・手段を有効活用し積極的な広報活動に努める。</p> <p>②生徒募集の実質的な成果を上げるため、中学校及び塾と一層の連携強化に図る。</p> <p>③HPをとおして、生徒の学習活動や学校生活、部活動等を広く伝え、本校の効果的な広報活動に繋げる。</p>	<p>① 学校見学会、私学展、各種説明会の参加人数をみても、この層での獲得の広報は合格点と思われる。</p> <p>② 学習塾からの信頼はかなり厚くなってきた手ごたえがあるが、在校生への要望など年々件数が増え、対応が追い付かなくなってきている。</p> <p>③ 積極的なHPの更新に努め、学校の広報・募集活動につなげた。</p>	<p>① S・A・G専願入学者の80%が見学会に参加。総合は50%。入学者増の要因になったことは明らか。</p> <p>② クレーム対応に追われ、本来の営業ができなかった。苦情処理は入選以外の窓口が必要。</p> <p>③ 入選や進路の協力を得ながら、積極的なHPの更新に努めた。</p>	<p>5</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>入選対策センター</p> <p>入選対策センター</p> <p>情報システムセンター</p>
<p>9 その他</p>					
<p>観 点</p> <p>①教職員は高い倫理意識を持ち、法規・法令・服務規程を遵守しなければならない。</p> <p>②教職員は互いに理解と信頼によって結ばれた協働体制の確立に努め、明るい職場環境づくりを心がける。</p> <p>③教職員は、学校経営への参画意識を持ち、意欲と活力に満ち、熱意と使命感を持って業務を遂行する。</p> <p>④各学年、教科、分掌、センターにおいては、具体的な数値目標を掲げ、目標達成に向けて教育活動を展開する。</p>	<p>取組の概要</p> <p>①教職員、特に教員は専門職としての倫理意識を高め、生徒指導に当たる必要がある。体罰の厳禁、心のケアの対応、金銭等の幅広い倫理感や服務規程についての研修が急務である。</p> <p>②組織の一員としての意識や協働体制の意義を再確認する研修と、創成高校の長期展望や創成でやる気を起こす「生き甲斐」を持たせる必要がある。</p> <p>③教職員が学校経営の「参画意識」を高め、本校の長期的展望を持って、時流に応じた取り組みの方向性を具現化する必要がある。</p>	<p>外部評価(意見・要望・改善事項)</p> <p>① 今年度から保護者及び近隣町内会役員の方々から「外部評価」をいただいた。結果として保護者（父母の会役員）から忌憚のない意見をいただき、教員の意識向上にもつなげることができた。また、体罰調査では「言葉の暴力？」に対する意見もあり、生徒への心のケアの必要性をさらに強く感じさせられた。</p> <p>② 上意下達では為し得ないことも、1①など、教職員が協力して作り上げる行事や具体的な目標を達成しようと、動くことによりやりがいを持てる機会が少しずつ得られ、いい方向に向いている。</p> <p>③ 校長から学校課題について企画室・小委員会への提案があり、多くの生徒の志願者、入学者を迎えるにあたり、本校の将来像に向けて大きな一歩を踏み出すこととなったことは教職員の意識改革につながった。</p>	<p>3</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>教頭</p> <p>総務部</p> <p>教頭</p>	
<p>10 本校の近隣3町内会と連絡協議会を実施し、町内会から生徒に関する率直な意見を聴取する。</p>					
<p>観 点</p> <p>①生徒の通学状況及び下校の様子</p> <p>②自転車通学のマナーの様子</p> <p>①服装や身だしなみの様子</p>	<p>取組の概要</p> <p>①毎年6月に実施し、令和元年度は通算して27回目となる。</p> <p>②参加者は、町内会、父母の会役員、生徒会役員及び本校の教職員の約20数名で実施している。</p>	<p>外部評価(意見・要望・改善事項)</p> <p>① 本校が、長い歴史の中で大きく変わり、生徒の登下校の様子も大きく変わり、地域に愛される学校となっている。</p> <p>② 今回は、「外部評価アンケート」への記入もお願いしたが、地域の行事への参加も含めて、高い評価をいただいた。</p>			
<p>11 保護者懇談会（7月下旬から8月上旬）を実施し、学校・家庭との連携を一層図りながら学習指導・生徒指導の充実を図る。</p>					
<p>①保護者と担任との意見交流</p> <p>②家庭及び学校での生活の在り方</p> <p>③家庭と学校との情報の交換及び強化等</p>	<p>①夏季休業期間に全校生徒を対象にして、2者懇談及び3者懇談(生徒・保護者・担任)を行っている。</p> <p>②進路相談や生活相談など広範囲に生徒理解を進める。</p>	<p>① 各学級ともに、9月まで実施期間を延長し、全クラスが目標の100%に近づいた達成率であった。</p> <p>② 進路相談についても、きめ細かく実施し進路実現をすることができた。</p>			
<p>12 保護者授業参観日（10月下旬）を実施し、生徒の実態や授業の様子・部活動の指導の在り方などを見学するなどして、本校へのよりよい理解を得る。</p>					
<p>①授業や部活動等の参観</p> <p>②学校教育への関心度の契機</p>	<p>①平常の授業及び部活動の様子など参観対象である。</p> <p>②参観者からは、生徒の様子や教員の教育活動など率直な感想や意見が寄せられている。</p>	<p>① 残念ながら、授業公開等の実施についてはできなかった。</p> <p>② 学校行事（学校祭）や芸術鑑賞、校外展、文化系部活動発表会などへの保護者の参加率はあがっている。また、修学旅行説明会や進路講演会などには特に1学年の保護者の出席率は高く、今後の本校の教育活動には大きな応援部隊となると考えられる。（保護者の意識が大きく高まっている）</p>			

<p>13 「よりよい授業」をするために、生徒による授業評価アンケートを全教員・全科目を対象として実施し、より効果的な授業改善を図る。</p> <p>〈生徒の学習への取組〉 ①授業内容の理解、約束事の遵守 ②授業への集中、教材の準備 ③課題や小テストなどの提出等</p> <p>〈教員の授業改善〉 ①教材の研究や教材の工夫 ②板書や話し方、説明の工夫 ③興味や関心、質問の工夫等</p>	<p>①アンケートは、年間に2回（7月と12月）実施し、生徒が受けている授業を対象とする。授業担当者に対する評価、授業を受けている生徒の自己評価、授業に対する興味・関心など生徒に評価させている。</p> <p>②生徒に「授業の良い点や改善して欲しい点」などを率直に生徒に評価させる。アンケート結果については、内容を要約して保護者にも公表し、教員側のよりよい授業改善に向けた授業評価として実施する。</p>	<p>①記述式にして、Classiで2回（7月・12月）に生徒の率直な授業者への意見を書けるようにしたが、やや回答率が低く残念であった。厳しい教員評価も多くあった。個々の教員は「授業実践」の中で生徒と今後の方針について語り合い、授業改善に努めた。</p> <p>②今年度より、保護者（父母の会役員）からの外部評価を7月と12月に実施する中で「生徒への授業や進路指導などが十分に行われていますか」の質問に対してやや不満足であるとの回答もあった。また「心のケア」に対しても不満足であるとの意見もあった。</p>
<p>14 保護者及び地域社会に開かれた広報活動を推進し、本校に対する理解を促進する。</p> <p>①適宜、適切な情報の提供 ②学校理解の促進 ③学校の門戸開放 ④学校及び家庭等の地域の教育力の向上等</p>	<p>①札幌創成高等学校ホームページの更新を適宜・適切に行い、常に新しい情報により、本校の教育活動への理解と協力を求め、情報宣伝活動に努めている。</p> <p>③学校祭一般開放などにより、保護者・地域社会へ積極的な学校公開に努めている。</p>	<p>①ホームページの更新による学校の教育活動の情報公開がまだまだ不十分である。保護者へはClassiによる情報公開もさらに進める必要がある。</p> <p>②修学旅行・宿泊研修・NZ語学研修などは十分に活用されていた。</p> <p>②創成祭・校外展・定期演奏会など積極的に学校公開を進めている。進路講演会も含めて保護者の関心度も高まりつつある。</p>

令和元年度 学校評価（保護者向け）アンケート（12月実施）

＊父母の会の役員の方々を対象に実施させていただきました。

（1～10の項目の該当する評価のア～オに○をつけて下さい。）

1 心豊かな学校生活

本校では生活目標の「整々たる校風」のもと、品格ある人間形成をめざしています。それに向けて心・技・体のバランスのとれた教育活動を行い、心豊かな人間を育てたいと願っています。保護者の皆様は、子供達がこれらの目標に向けて心豊かな学校生活を送っていると思いますか。

ア 思う イ どちらかといえば思う ウ どちらかといえば思わない エ 思わない
25. 0% 62. 5% 9. 4% 3. 1%

2 きめ細かで手厚い指導

本校では教職員と生徒との人間的な触れあいを大切にして個に適した成長を促す、きめ細かい指導を心がけています。保護者の皆様は、このことがお子さんの姿から感じておられますか。

ア 思う イ どちらかといえば思う ウ どちらかといえば思わない エ 思わない
34. 4% 50. 0% 12. 5% 3. 1%

3 学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業

本校では教員としての資質向上を目指し、魅力ある授業の実践によって生徒の学ぶ意欲を喚起しています。保護者の皆様はこのことがお子さんの成長から感じておられますか。

ア 思う イ どちらかといえば思う ウ どちらかといえば思わない エ 思わない
25. 0% 65. 6% 6. 3% 3. 1%

4 挨拶・身だしなみ・言葉遣いの指導

本校では「基本的習慣の確立」を目指し、「整々たる校風」の確立と生徒と教職員の人間的なつながりと共感的指導により、挨拶・身だしなみ・言葉遣い等の指導に力を入れています。保護者の皆様は、このことが日常生活に表れていると思いますか。

ア 思う イ どちらかといえば思う ウ どちらかといえば思わない エ 思わない
25. 0% 56. 3% 12.5% 12. 5%

5 学校からの情報発信

本校では学校と保護者の連携を目指し学校での実践や取り組みをホームページや Classi、学校だより「ぷらたなす」や父母の会の便り「ちょっといい話」「体育文化後援会だより」や「学年だより」「学級通信」等により積極的に情報発信に努めています。保護者の皆様に、このことが伝わっていると思いますか。

ア 思う イ どちらかといえば思う ウ どちらかといえば思わない エ 思わない
34. 4% 50. 0% 9. 4% 6. 3%

6 進路意識の向上

本校では早期から進路意識の高揚を目指し、進路ガイダンス・セミナー・個人面談等により学年に沿ったキャリア教育を行っています。保護者の皆様は、このことが成果として表れていると思いますか。

ア 思う イ どちらかといえば思う ウ どちらかといえば思わない エ 思わない
28. 1% 62. 5% 6. 3% 3. 1%

7 幅広い進路希望の実現

本校では早期からの進学講習・資格取得・個人指導・模試の実施等によって幅広い進路希望を実現させるため、様々な取り組みを計画的に進めています。保護者の皆様は、このことが成果として表れていると思いますか。

ア 思う イ どちらかといえば思う ウ どちらかといえば思わない エ 思わない
34. 4% 50. 0% 9. 4% 3. 1%

8 豊かなクラブ・部活動の展開

本校では、生徒個々の持ち味を生かし、自主性・主体性を重んじたクラブ・部活動等の活性化に努めています。保護者の皆様は、このことが生徒の成長に大きな力となっていると思いますか。

ア 思う イ どちらかといえば思う ウ どちらかといえば思わない エ 思わない
40. 7% 37. 5% 18. 8% 3. 1%

9 心のつながり、教育相談等による共感的指導の実践

本校では教育相談活動の広がりや「生徒との心のつながり」「共感的な指導」等によって「自主性・自立性」の育成を行い、悩み事等の課題解決を進めています。保護者の皆様は、このことが子供達の成長につながっていると思われませんか。

ア 思う イ どちらかといえば思う ウ どちらかといえば思わない エ 思わない
25. 0% 50. 0% 21. 9% 3. 1%

10 施設設備の充実

本校では平成元年からの校舎新築から年数を経てきた校舎やグラウンドの施設・設備について緊急性を要するところからその整備に努めています。保護者の皆様には、そのことが伝わって来ていると思われませんか。

ア 思う イ どちらかといえば思う ウ どちらかといえば思わない エ 思わない
31. 3% 43. 8% 12. 5% 12. 5%